

令和4年度 鹿児島大学大学院教育学研究科学生募集（D 日程）について
 学校教育実践高度化専攻(専門職学位課程)[教職大学院]

| 専攻名 | 募集人員 | 出願期間 | 選抜方法 | 試験日 | 合格発表 |
|-------------------------------------|------|---|---------------------|--------------|--|
| 学校教育実践高度化専攻 (専門職学位課程) [教職大学院] | 1人 | <p>令和4年3月7日(月)～3月8日(火) ・9時から17時まで受け付けます。 ・郵送の場合は「書留速達」としてください。なお、3月8日(火)16時まで に必着ですので郵便事情等を考慮して 早めに発送してください。</p> <p>※個別の入学資格審査対象者は、<u>令和4年3月7日(月)17時</u>までに必要書類を提出してください。なお、事前審査申請書は、教育学部教務係へ請求してください。</p> <p>※本専攻に入学を志願する者で、障害又は発達障害がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、令和4年3月7日(月)までに教育学部教務係へ相談の連絡をしてください。</p> | 学力試験 [小論文, 口述試験] | 令和4年3月17日(木) | <p>令和4年3月25日(金)10時</p> <p>※教育学研究科ウェブサイト (https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/teaching/) に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。</p> |

※アドミッションポリシー、出願資格、出願書類等の詳細は、令和4年度鹿児島大学大学院教育学研究科学生募集要項（A日程・B日程・C日程）をご参照ください。
 出願書類様式の請求及び不明な点は下記までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

鹿児島大学教育学部教務係 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号 電話099-285-7713

令和4年4月入学 学生募集要項

鹿児島大学大学院教育学研究科 学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程） [教職大学院]

| 区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格者発表 |
|-------------|----------------------------|---------------|---------------|
| A日程 | 令和3年10月5日（火） ～10月19日（火） | 令和3年10月30日（土） | 令和3年11月12日（金） |
| B日程 | 令和3年11月19日（金） ～12月3日（金） | 令和3年12月18日（土） | 令和3年12月24日（金） |
| C日程 （予定） | 令和4年1月21日（金） ～1月28日（金） | 令和4年2月11日（金） | 令和4年2月18日（金） |

※A日程及びB日程で入学定員を満たした場合、C日程は実施しない可能性があります。

※C日程を実施する場合は、鹿児島大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認してください。

※新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大状況によって、学生募集要項の記載とは異なる日程、方法等で選抜を実施することがあります。変更となる場合は、決定次第、教育学研究科のホームページでお知らせします。

鹿児島大学大学院教育学研究科

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号

電話 099-285-7713

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）

<概要>

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（以下「教職大学院」）は、平成29年度の開設以降、以下の事項を実現することを理念として掲げてきました。

- ①教科や教職についての基礎・基本を踏まえた理論と実践の往還による教員養成の高度化
- ②教科指導、生徒指導、学級経営等の職務を的確に実践できる力の育成
- ③「学び続ける教員像」の確立
- ④大学での「養成」と教育委員会等が実施する「研修」をつなぐ新たな体制づくり
- ⑤自らの実践を理論に基づき省察するための研修の新たな取り組み
- ⑥学校支援に係る関係者をはじめとする広く社会の力を結集した取り組み
- ⑦教員の資質向上を図り、また他の教員と効果的に協働したり、学校管理職、教育行政職、先輩教師や同僚教師として、「チーム学校」を協働的かつ効果的に組織・運営することのできる教員の養成

本学教職大学院では、これらの理念や鹿児島県の「かごしま教員育成指標」に見られる教員の養成や研修に係る育成の考え方等を踏まえながら、専門職としての教師の力量の高度化を図るカリキュラムを編成しています。それは、「実習」と「省察」を軸とする、本専攻のすべての授業科目が有機的に関連し合うカリキュラムで、具体的には、「共通科目」「実習科目」「省察科目」「選択科目」という4つの科目区分によるカリキュラムを編成し、これらの科目群の履修を通して、学生が個々に関心を寄せる教科指導、生徒指導や学級経営、学校の組織的業務等に係る課題だけでなく、鹿児島県における学校を中心とした現場の抱える様々な課題や現代的な教育課題を設定し、解決のための方策を探究するものとなっています。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善やカリキュラム・マネジメントを考えたり、外国語（英語）や道徳、ICT、特別支援教育などの諸課題に対するチーム学校としての対応力を高めたりできる資質や能力を身に付けることを目指すとともに、「省察する力」や「コミュニケーション能力」の高度化が実現できる教育課程を編成しています。

なお、「選択科目」については、令和3年度より、学生の問題意識や関心や探究課題に応じて選択履修する、「教科教育（教授—学習）研究プログラム」「学校研究プログラム」「特別支援教育プログラム」という3つの履修プログラムを設定しています。

「教科教育（教授—学習）研究プログラム」は、主として初等及び中等教育における特定の教科・領域の指導法、教科横断的な資質・能力の育成、カリキュラム・マネジメントや次世代型の教育開発等に関心を持つ学生が履修するプログラムです。

「学校研究プログラム」は、主として生徒指導や教育相談、学級・学校経営の領域を扱う科目群で、例えば、いじめ・不登校の問題へのチーム学校として対応や教員の協働性を高める校内研修の在り方などマネジメントに関心を持つ学生が履修するプログラムです。

「特別支援教育プログラム」は、特別支援学校に勤務する現職教員やそれを旨とする学生が主に履修するプログラムで、発達障害、インクルーシブ教育、特別支援教育に係るカリキュラム・マネジメント等に関心を持つ学生が履修するプログラムです。

このように本学教職大学院では、4つの科目区分と3つの履修プログラムの科目群の履修を通して、教師としての力量を高めることのできる系統的・横断的な教育課程を編成しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 求める人材像

教育学研究科学校教育実践高度化専攻では、次のような人材の入学を期待しています。

- ・ 学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能を有し、教育職員一種免許状を有している人、または取得見込みの人
- ・ 教師としての明確な問題意識・関心を持ち、幅広い教養と柔軟な思考力を持つ人
- ・ 教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」を有している人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・ 学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識や技能
- ・ 教職や学校教育の諸課題に関心を持ち、多様な観点から考えられる力
- ・ 様々な他者とコミュニケーションをしたり、協働したりできる力

3. 入学者選抜の基本方針

本専攻の入学者受入方針にしたがい、入学者選抜に際しては、小論文及び口述試験を課し、入学希望者の資質と能力を多面的に総合評価します。

1 専攻及び募集人員

専攻名：学校教育実践高度化専攻

募集人員：

| 入学定員 | 区分 | 募集人員 |
|------|--------|--------|
| 20人 | A日程 | 20人 |
| | B日程 | 若干人 ※2 |
| | C日程 ※1 | 若干人 ※2 |

※1 A日程及びB日程で入学定員を満たした場合、C日程は実施しない可能性があります。

※2 募集人員はA日程に含まれます。

2 出願資格

次の(1)から(9)のいずれかに該当する者で、かつ、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭若しくは養護教諭のいずれかの普通免許状（一種）を有する者又は令和4年3月までに取得見込みの者

(1) 大学を卒業した者又は令和4年3月までに卒業見込みの者

※短期大学卒業者は資格審査の申請が必要

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年（2022年）3月までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者

(6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者

(7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

(8) 令和4年3月末現在において、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者（注）

(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年4月1日までに22歳に達する者（注）

（注）上記の(8)、(9)により出願しようとする者には、事前に個別の入学資格審査を行いますので、以下の日時までに必要書類を提出してください。なお、事前審査申請書は、教育学部教務係へ請求してください。

その他出願資格について不明な点は、教育学部教務係に問い合わせてください。

| 区分 | 日時 |
|---------|----------------------|
| A日程 | 令和3年 9月 3日（金）17時まで |
| B日程 | 令和3年 11月 2日（火）17時まで |
| C日程（予定） | 令和3年 12月 27日（月）17時まで |

3 出願手続

(1) 出願方法

| 区分 | 出願期間 |
|---------|-----------------------------------|
| A日程 | 令和3年 10月 5日(火)～10月19日(火) 9時～17時まで |
| B日程 | 令和3年 11月19日(金)～12月 3日(金) 9時～17時まで |
| C日程(予定) | 令和4年 1月21日(金)～1月28日(金) 9時～17時まで |

(注) 1. 土曜日・日曜日・祝日を除きます。

2. 郵送の場合は「書留速達」とし、各日程の出願期間最終日16時までに必着ですので、郵便事情等を考慮して早めに発送してください。

3. C日程を実施する場合は、鹿児島大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認してください。

提出先：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号

鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

(2) 出願書類等

| 書類等 | 提出該当者 | 摘要 |
|--------------------|-------|---|
| 入学志願票 | 全員 | 本学所定の用紙による。 |
| 受験票・写真票 | 全員 | 本学所定の用紙による。(出願期間前3ヶ月以内に撮影した写真を貼付すること。) |
| 入学検定料 (30,000円) | 全員 | 別添の振替払込用紙を使用して、郵便局の受付窓口から検定料を払込むこと。(ATMでの払い込みはできない。)また、出願の際、「検定料振替払込受付証明書(お客さま用)」を、日付印欄の押印を確認の上、所定の台紙に必ず貼付したものを提出すること。 なお、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ①払込んだが出願しなかった場合 ②誤って二重に払込んだ場合 |
| 成績証明書 | 全員 | 出身大学長又は学部長が作成したもの。 ※令和3年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。 ※改姓前の証明書の場合は、改姓したことがわかる証明書(戸籍抄本等)と一緒に提出すること。 |
| 卒業証明書又は卒業見込証明書 | 全員 | 出身大学長又は学部長が作成したもの。 ※令和3年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。 ※改姓前の証明書の場合は、改姓したことがわかる証明書(戸籍抄本等)と一緒に提出すること。 |

| | | |
|--------------------------|---------------|--|
| 学位授与証明書又は学位授与見込証明書 | 出願資格(2)に該当する者 | 学位授与機構が作成したもの。 ※令和3年4月以降に発行され、厳封されたものを提出すること。 ※改姓前の証明書の場合は、改姓したことがわかる証明書(戸籍抄本等)と一緒に提出すること。 |
| 教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し | 免許状を有する者 | 免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 ※改姓前の証明書の場合は、改姓したことがわかる証明書(戸籍抄本等)と一緒に提出すること。 |
| 教育職員免許状取得見込証明書 | 免許状取得予定見込みの者 | 出身大学長又は学部長が作成したもの。 |
| 学修計画書 | 全員 | 本学所定の様式による。なお、本学教職大学院のウェブサイトから様式をダウンロードすることも可能です。 https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/teaching/ |
| 身分証明書 | 外国人志願者 | 日本に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載され、個人番号(マイナンバー)の記載が省略されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。 |
| 受験承諾書 | 現職教員 | 本学所定の用紙により、所属長が作成したもの。 |
| あて名シール | 全員 | 本学所定の用紙による。(2枚提出) |
| 受験票等返信用封筒 | 全員 | 封筒(長形3号)に374円分の切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を明記したもの。 |

(注) 1. 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

2. 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の制定に伴い、出願書類等により志願者から提出された個人情報については、入学者選抜・合格者発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためのみに利用し、他の目的には使用しません。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので、十分点検して提出してください。なお、不備書類は返却します。
- ② 入学許可の後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

(4) 受験票発送日

| 区分 | 日時 |
|---------|---------------|
| A日程 | 令和3年10月21日(木) |
| B日程 | 令和3年12月7日(火) |
| C日程(予定) | 令和4年2月1日(火) |

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験〔小論文、口述試験〕によって行います。

学力試験科目

| 科目名 | 配点 | 内容 |
|------|-----|--|
| 小論文 | 100 | アドミッション・ポリシーの〈求める人材像〉に掲げた3点を踏まえ、今日的な教育課題の中から出題します。 |
| 口述試験 | 100 | 出願時に提出される学修計画書の記載内容などに即し、アドミッション・ポリシーの〈求める人材像〉に掲げた3点を踏まえ、出題します。なお、教職や学校教育の諸課題に関わる文献・資料の確認をしておくことが望ましい。 |

5 合否判定基準

(1) 学力試験の合計得点により順位付けを行い、合否を決定します。

なお、教育学研究科が定める基準に満たない場合は、不合格とすることがあります。

(2) 合格得点が同点の場合は、1. 口述試験、2. 小論文、の優先順位により順位付けを行います。

6 学力試験の日程

| 区分 | 試験日 | 試験時間割 | | 試験場 |
|---------|---------------|-------|-------------|-----------|
| A日程 | 令和3年10月30日(土) | 小論文 | 10:00~11:30 | 鹿児島大学教育学部 |
| | | 口述試験 | 12:50~ | |
| B日程 | 令和3年12月18日(土) | 小論文 | 10:00~11:30 | |
| | | 口述試験 | 12:50~ | |
| C日程(予定) | 令和4年2月11日(金) | 小論文 | (未定) | |
| | | 口述試験 | | |

※日時、試験場の詳細は、受験票に同封する受験案内でお知らせします。

7 合格者発表

| 区分 | 日時 |
|---------|------------------|
| A日程 | 令和3年11月12日(金)10時 |
| B日程 | 令和3年12月24日(金)10時 |
| C日程(予定) | 令和4年2月18日(金)10時 |

※教育学研究科ウェブサイト(<https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/teaching/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続日 全日程（A～C日程）令和4年3月15日（火）～3月16日（水）

※受付時間は9時から17時まで。郵送の場合は、3月16日（水）17時必着。

合格者には、入学に際し必要な書類を送付します。

- (注) 1. 入学手続き終了後、令和4年3月31日（木）17時までに入學辞退の意思表示をした場合は、納付した諸会費等（教育学部後援会会費、学生教育研究災害傷害保険料等）を返還します。
2. 納入した入學料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
3. 入学手続後に入学を辞退する場合、入學料徴収猶予又は入學料免除の申請は無効となり、入學料を納入していただくこととなります。

9 納付金

入學料 282,000 円（予定額）

※入學料、授業料に改定があった場合は、
改定後の金額が適用されます。

授業料 前期分 267,900 円（予定額）

（年額 535,800 円）（予定額）

- (注) 1. 鹿児島県又は鹿児島市の教育委員会から推薦される現職教員学生については、2年次の授業料の半額免除の制度があります。（9頁、17参照）
2. 上記1以外に全学生を対象に、入學料、授業料の免除申請の制度があります。
3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

10 障害を有する入学志願者の事前相談

本専攻に入学を志願する者で、障害（次表参照）又は発達障害がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、事前に本研究科に相談してください。

| 区 分 | 障 害 の 程 度 |
|-------------|--|
| 視 覚 障 害 者 | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも |
| 聴 覚 障 害 者 | 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも |
| 肢 体 不 自 由 者 | 1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも |
| 病 弱 者 | 1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも |

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(1) 相談時期

相談の内容によっては、本研究科の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、以下の日時までに相談してください。

| 区分 | 日時 |
|----------|------------------------|
| A日程 | 令和3年 9月 3日 (金) 17時まで |
| B日程 | 令和3年 11月 2日 (火) 17時まで |
| C日程 (予定) | 令和3年 12月 27日 (月) 17時まで |

(2) 相談方法

電話又は本研究科窓口での相談のいずれでも構いませんが、下記事項等を記載した相談書（様式任意）を提出していただく場合があります。

- ①氏名、生年月日
- ②障害の種類、程度（医師の診断書が必要な場合があります。）
- ③受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤日常生活の状況
- ⑥本人の現住所及び電話番号
- ⑦その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

(3) 問い合わせ先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目 20 番 6 号

鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

11 学位

本専攻の課程に2年（標準）以上在学し、本専攻で定めた授業科目46単位以上を修得した者（ただし、教職経験歴に基づき実習科目の一部を免除（上限5単位）された者においては、46単位から免除された単位を減じた単位数以上を修得すること）は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻を修了したものと認定され、「教職修士（専門職）」の学位が授与されます。

12 研究成果報告書の提出

本専攻の課程を修了しようとする者は、「教職課題研究Ⅰ」「特別支援教育教職課題研究Ⅰ」ならびに「教職課題研究Ⅱ」「特別支援教育教職課題研究Ⅱ」において、自身が設定した研究テーマに基づき進めてきた学修ならびに探究の成果を「研究成果報告書」としてまとめ、提出する必要があります。なお、「教職課題研究Ⅱ」「特別支援教育教職課題研究Ⅱ」は、当該「研究成果報告書」の審査を経て単位の認定が行われま

13 教育職員免許状

本専攻において取得できる専修免許状は次のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

| 専攻 | 教員免許状の種類 | 免許教科 |
|-------------|--|---|
| 学校教育実践高度化専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、英語 |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | |
| | 養護教諭専修免許状 | |
| | 特別支援学校教諭専修免許状 (知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域) | |
| | | |

※教職大学院に入学後、特別支援教育プログラムを履修し、特別支援学校教諭の専修免許状を取得しようとする場合、実習科目に関わる以下の要件があります。

- ①特別支援教育プログラムを履修する学生が行う2年次の実習（「特別支援教育高度化実践実習Ⅱ」「特別支援教育開発実践実習Ⅱ」）については、特別支援学校で行う実習とする。
- ②そのため特別支援教育プログラムを履修することのできる現職教員は、現籍校が特別支援学校であることとする。

14 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

現職教員に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、現職教員が高等教育を受ける機会を拡大するための措置を行います。

教育委員会から推薦される現職教員においては、1年次は在職校における勤務を離れて大学院での学業に専念し、2年次は在職校に勤務しながら残りの単位を修得するとともに、研究成果報告書作成のための指導を受けることとなります。

15 長期履修学生制度について

本専攻には長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準修業年限を超えて一定の期間（3年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された履修期間で除した金額となります。

入学手続きの際に必要な書類を送付しますが、希望者はあらかじめ、指導教員等に相談してください。

16 小学校教員免許取得プログラム（長期在学履修）について

本プログラムは、中学校又は高等学校の教員免許状取得者が大学院に在籍しながら小学校教員免許状を取得するために、特別に設定されたプログラムで、修業年限は3年間です。

履修にあたっては、本専攻開設科目を「教育学研究科学校教育実践高度化専攻（教職大学院）の履修案内」に従って履修します。それに加えて、小学校教員免許取得に必要な教育学部開設科目を履修するとともに、小学校教育実習に関わる実習、介護等体験に参加しなければなりません。

- ・小学校教育実習に関わる実習

実習の名称と期間は以下の通りです。

教育実習（事前指導、事後指導） 週1回

教育実習 2週間

- ・介護等体験

中学校の教員免許状を取得している者以外は、介護等体験に参加する必要があります。

介護等体験の場所と期間は以下の通りです。

附属特別支援学校 2日間

社会福祉施設等 5日間

※教員採用試験に合格された方で、採用候補者名簿登載期間の延長などの特例的な措置を利用して教職大学院に進学される方が本プログラムに申請を行う場合は、事前に教育委員会等に確認が必要です。

17 現職教員学生の負担軽減措置

教職に関わる実務経験を有する者については、入学後の審査委員会で審議した上で、その教職経験歴等に基づき、実習科目の一部（上限5単位）を免除することができます。また、鹿児島県又は鹿児島市教育委員会の推薦により入学した現職教員学生については、実習免除が決定した現職教員学生のうち学長が認めた者は、2年次の授業料が半額免除となります。

18 令和3年度 入学試験実施状況

| 専攻 | 募集人員 | 志願者 | 合格者 | 入学者 |
|-------------|------|-----|-----|-----|
| 学校教育実践高度化専攻 | 20 | 24 | 19 | 19 |

19 入試情報開示

学力試験問題の開示

学力試験科目の問題を、教育学部教務係で開示しています。(過去3年分)

学力試験問題の正解・解答例の開示

合格者発表後、「正解・解答例」を教育学部教務係で開示します。

なお、次の点に留意してください。

- 1 正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答があり得ます。
- 2 正解・解答例に代えて、出題意図を開示する場合があります。

入学者選抜試験個人成績の開示

令和4年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

【1】開示内容

試験成績

学力試験の個々の科目の得点及び合計得点を開示します。

【2】開示期間

| 区分 | 開示期間 |
|---------|-----------------------------------|
| A日程 | 令和3年11月1日(月)～令和3年12月27日(月) 9時～17時 |
| B日程 | 令和4年1月4日(火)～令和4年2月28日(月) 9時～17時 |
| C日程(予定) | 令和4年3月1日(火)～令和4年4月28日(木) 9時～17時 |

※土曜日・日曜日・祝日を除きます。

【3】請求者

受験者本人に限ります。(代理人による請求は認められません)

【4】開示方法

(1) 教育学部教務係で開示します。開示請求を行う者は、次の①及び②を必ず持参してください。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 令和4年度(○日程:○にはA Bの該当する日程が入る)
鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻(専門職学位課程)受験票

A4用紙

(2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きし、必ず書留郵便で請求してください。

ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。

- ① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)
- ② 令和4年度(○日程)鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻(専門職学位課程)受験票
- ③ 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留料金を含めた404円分の切手を貼付し、自分の宛先を明記したもの)

(3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
鹿児島大学教育学部教務係

【5】その他

令和3年度以前の個人成績は開示しません。

入試情報開示請求書

令和 年 月 日

鹿児島大学大学院教育学研究科長 殿

請求者 住所
氏名
電話
受験番号

私の入試成績について、入試情報の開示を請求します。

※上記の日付は入試情報開示請求日を記載してください。

20 授業科目一覧（令和4年度予定）

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|-----------|--|--------------------|------------------|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| 共通科目 | 【1 教育課程の編成・実施に関する領域】 学校を基盤とするカリキュラム開発 特色ある教育課程とそのデザイン 特別支援教育とカリキュラム・マネジメント (※) | | 2 2 2 | |
| | 【2 教科等の実践的な指導方法に関する領域】 教材研究, 指導方法, 評価に関する実践的課題とその改善 ICT活用と授業デザイン | | 2 2 | |
| | 【3 生徒指導・教育相談に関する領域】 教育相談の方法と実践 学校における生徒指導の実践と課題 発達障害児の心理臨床 (※) | | 2 2 2 | |
| | 【4 学級・学校経営に関する領域】 学級経営の実践と課題 自律的学校経営の理論と実践 | | 2 2 | |
| | 【5 学校教育と教員の在り方に関する領域】 学校教育の役割と教師の成長 鹿児島における学校教育と教員のあり方 インクルーシブ教育における教師の専門性 (※) | | 2 2 2 | |
| | 上記1～5の各区分から2単位、計16単位以上選択必修 | | 26 | |
| | | | | |
| 実習科目 | 高度化実践実習 I 高度化実践実習 II 特別支援教育高度化実践実習 I (※) 特別支援教育高度化実践実習 II (※) | | 2 2 2 2 | |
| | 重点領域実践実習 I 重点領域実践実習 II 特別支援教育重点領域実践実習 I (※) 特別支援教育重点領域実践実習 II (※) | | 1 1 1 1 | |
| | 開発実践実習 I 開発実践実習 II 特別支援教育開発実践実習 I (※) 特別支援教育開発実践実習 II (※) | | 2 4 2 4 | |
| | 12単位必修 | | 24 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 省察科目 | 学校教育におけるデータ分析とその活用 教職課題研究 I 教職課題研究 II 特別支援教育教職課題研究 I (※) 特別支援教育教職課題研究 II (※) | 2 | 3 3 3 3 | |
| | 8単位必修 | 2 | 12 | |
| 選択科目 | 教科教育(教授・学習)研究 | 国語科指導法の省察と開発 | | 2 |
| | | 国語科・書道指導法の省察と開発 | | 2 |
| | | 社会科・地理歴史科指導法の省察と開発 | | 2 |
| | | 社会科・公民科指導法の省察と開発 | | 2 |
| | | 数学科指導法の省察 | | 2 |
| | | 数学科指導法の開発 | | 2 |
| | | 理科指導法の省察 | | 2 |
| | | 理科指導法の開発 | | 2 |
| | | 英語科指導法の省察 | | 2 |
| | | 英語科指導法の開発 | | 2 |
| | | 音楽科指導法の省察 | | 2 |
| 音楽科指導法の開発 | | 2 | | |

| | | | |
|---------------------|--------------------|--|----|
| | 美術科指導法の省察 | | 2 |
| | 美術科指導法の開発 | | 2 |
| | 保健体育科指導法の省察 | | 2 |
| | 保健体育科指導法の開発 | | 2 |
| | 技術科指導法の省察 | | 2 |
| | 技術科指導法の開発 | | 2 |
| | 家庭科指導法の省察 | | 2 |
| | 家庭科指導法の開発 | | 2 |
| | 特別の教科道徳の授業デザイン論 | | 2 |
| | 次世代型教育コンテンツの開発Ⅰ | | 2 |
| | 次世代型教育コンテンツの開発Ⅱ | | 2 |
| | 生活科・総合的学習のカリキュラム開発 | | 2 |
| | 特別活動の理論と実践 | | 2 |
| | | | 50 |
| 学校研究 | 学校の安全・安心と危機管理 | | 2 |
| | グループダイナミクスからみた学級経営 | | 2 |
| | 学校づくりと教師 | | 2 |
| | 教師の専門性と教育調査研究 | | 2 |
| | 学校経営と組織マネジメント | | 2 |
| | 授業研究の理論と実践 | | 2 |
| | 学校研究の手法と実践 | | 2 |
| | いじめ・不登校への組織的対応 | | 2 |
| | | | 16 |
| 特別支援教育 | 発達障害サポートシステム開発 (※) | | 2 |
| | 知的・発達障害指導法 (※) | | 2 |
| | 障害の多様性とその支援Ⅰ (※) | | 2 |
| | 障害の多様性とその支援Ⅱ (※) | | 2 |
| | 発達障害の医療と支援 (※) | | 2 |
| | 心身障害科学 (※) | | 2 |
| | 障害児の心理的理解と支援 (※) | | 2 |
| | | | 14 |
| 上記3区分の各区分10単位以上選択必修 | | | |

(注) 授業科目名の後ろに (※) のある科目は特別支援教育の科目



【検定料振替払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙

| | |
|-----------|-----------------------|
| 選 抜 区 分 | 専門職学位課程 |
| 志 願 専 攻 | 大学院教育学研究科 学校教育実践高度化専攻 |
| 志 願 者 氏 名 | |

検定料振替払込受付証明書（お客さま用）を、必ず貼付すること。

履 歴 書

| | | |
|--------------------|-------|--------|
| 学 歴 | 年 月 日 | 事 項 |
| | 年 月 日 | 高等学校卒業 |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 職 歴 | 年 月 日 | 事 項 |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 上記のとおり相違ありません。 | | |
| 年 月 日 | 氏 名 | |

- (注) 1. 学歴は高等学校卒業から記入し、大学以後については入学、卒業を記入すること。
 2. 職歴は臨時採用についても、その旨を記入すること。

写

令和4年度（ 日程）
鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻
（専門職学位課程）

写 真 票

| | |
|---|--|
| ※ 受験番号 | |
| フリガナ | |
| 氏 名 | |
| 上半身、脱帽、 正面向きで3 ヶ月以内に撮 影した写真を 貼付すること。 (4cm×3cm) | |

受

令和4年度（ 日程）
鹿児島大学大学院教育学研究科
学校教育実践高度化専攻
（専門職学位課程）

受 験 票

| | |
|---|--|
| ※ 受験番号 | |
| フリガナ | |
| 氏 名 | |
| 上半身、脱帽、 正面向きで3 ヶ月以内に撮 影した写真を 貼付すること。 (4cm×3cm) | |

- (注) 1. ※印欄は、大学で記入する。
2. (日程) の下線部分には受験する日程 (A・B・C) を記入すること。

令和4年度

学修計画書

鹿児島大学大学院教育学研究科

学校教育実践高度化専攻

| 受験番号 | ※ | フリガナ 氏名 | |
|----------------------------------|---|------------|--|
| 学校教育実践高度化専攻（教職大学院）で探究したい課題及びその理由 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(注) ※印欄は、大学で記入する。

(現職教員)

令和4年度

令和 年 月 日

鹿児島大学大学院教育学研究科長 殿

(所属長)

職 印

受 験 承 諾 書

下記の者が貴大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）
を受験することを承諾いたします。

記

| 職 名 | 氏 名 |
|-----|-----|
| | |

※

宛名シール（合格通知等用）

- 【注意事項】
- 1 ※欄は記入しないこと。
 - 2 合格通知書類等を受け取る際の郵便番号、住所及び氏名を、ていねいに記入すること。

(住所)

(氏名)

様

※

(住所) 8 9 0 0 0 6 5

鹿児島市郡元一丁目20-6

(氏名)

鹿児島大学 教育学部 教務係

(電話)

099 (285) 7713

品名：

書類